

2021年度学長裁量経費（教育改革推進）一覧

吉 成 順 YOSHINARI Jun 教授

共同研究者	横井 雅子 YOKOI Masako 教授 早稲田みな子 WASEDA Minako 教授
研究課題 趣旨・目的	必修科目「音楽文化論」で共通使用するコンテンツの作成 「クラシック音楽以外の音楽文化を広く取り上げ、音楽文化全体の中の学生 各自の立ち位置を確認させる」という趣旨のもとで2年次に置かれている「音 楽文化論」の、共通必修科目としての基盤を強固にするために、全クラスで 使用できる共通教材を作成する。日本や世界の音楽文化など必要性の高いも のを優先し、本学非常勤講師や外部講師による講演や演奏の動画収録と編集、 それに付随する授業資料の作成などを行う。
公表方法	動画教材のDVDと解説資料を作成し、授業用共通教材として担当教員間で 共有する。その概要については論文として本学研究紀要で公表する予定。
掲載誌 出版日 備考	国立音楽大学研究紀要第57集 2023年3月（予定） すでに尺八、囃子、三味線、三線について動画収録済み。

三 浦 雅 展 MIURA Masanobu 准教授

研究課題 趣旨・目的	演奏分析に基づいた学修成果の可視化手法に関する研究 音楽大学の演奏実技教育では、到達目標が画一的で規則的に実施されるとい うよりも、個人の多様性を最大限引き延ばすための自由度を与えた教育とな るため、学修効果の定量化が困難であった。この研究では、入学時から卒業 時までの学修成果の可視化を目的とし、入学時から卒業までの変化を自ら振 り返ることができる教育環境を最終目的とする。その目的で演奏記録項目を 設定し、自らの演奏技術を可視化することを目指す。
公表方法	論文発表を予定。2022年度日本音響学会音響研究会資料、2022年度日本音楽 知覚認知学会研究発表会資料、国際音響会議（ICA）研究発表会資料、また は2022年度国立音楽大学研究紀要のいずれかにて発表する。

林 浩子 HAYASHI Hiroko 教授

研究課題 趣旨・目的	子どもの感じる世界を感じる－音との出会いを通して－ 遊びや生活の中で、子どもたちが様々な音と出合うとき、不思議さやおもしろさを感じ、心を揺り動かす。「感じる」という営みが子どもの表現や知的好奇心を生みだし、子どもの世界を広げていく。そのような子どもの営みを、教師がおもしろがり、心を動かし、支えていくとき、子どもと共にある援助へと開かれていく。本研究は、子どもが音と出合うプロセスと、保育の中で感じることの二重構造を明らかにすることを目的とする。
公表方法	①日本音楽教育学会第53回大会にて発表（予定） ②日本保育学会第76回大会にて発表（予定）

中西千春 NAKANISHI Chiharu 教授

共同研究者	本島 阿佐子 MOTOJIMA Asako 教授 沢田 千秋 SAWADA Chiaki 非常勤講師
研究課題 趣旨・目的	演奏レッスンで学生の「音楽的自活力」を培う －レッスンにおけるメタ認知トレーニング－ 本研究の目的は、学生の「音楽的自活力」を培うことであった。 1) 声楽編 レッスンを録画し、学生はその録画を持ち帰り、振り返りを言語化（メタ認知）することで、練習に活用した。教師は練習内容、回数をアンケートで確認した。 2) ピアノ編 メタ認知的知識「方略」の学習と、その実践訓練（自己モニターとコントロール）が肝要と考え、①ピアノ演奏における Can-do リストの開発、②学生と教師間で ICT を用いた協同学習を行った。
公表方法	大学教育学会 第43回大会オンライン開催（2021年6月6日）中西千春「音楽大学における演奏教師のメタ認知についての気づきとレッスン改善」